

令和7年度「地域と学校の連携・協働体制構築事業」実績報告関係様式

●R7年度に本事業で重点的に取り組む課題に応じた目標等の設定様式

実施 自治体名	課題の類型 1	課題の類型 2	背景・現状・課題の詳細	左記課題の解決のために 令和7年度に実施する具体的な取組	左記具体的な取組のうち、令和6年度にお ける取組の評価・分析を踏まえた取組 ※交付申請時に変更した場合は、 これまでの取組状況	本事業で達成する目標 （アウトカム）	目標の達成度を 測る指標	現 状 の 数 値	単 位	本 年 度 の 目 標 値	本 年 度 の 実 績 値	アウトカムの達成度に関する評価・分析 （事業における成果、課題、改善点等）	目標等の公表先
132276_羽 村市	②学校と地域 の課題	その他	中学校の部活動について、地 域の方に技術力向上の支援を いただいている。部活動は、教 員の負担が多い課外活動であ り、また、国が進める部活動の 地域展開を踏まえ、地域の方 の部活動への更なる参画が必 要である。	各中学校の部活動に加え、地域展開を見 据えた部活動に、協働活動リーダーを1～ 2名配置する。	これまで以上に地域の支援をいただき、部 活動（学校）及び生徒と地域の絆を強め、部 活動の地域展開に進むことができるよう、中 学校の部活動へ協働活動リーダーを新規 配置または増員する。	協働活動リーダーが部活動支 援に入ること、生徒と地域の 距離が近くなり、地域の方と相 互理解が図られ、信頼関係等も 構築することができる。	協働活動リーダー （部活動支援）の人 数	17	人	25	36 04 本 年度の 目標値 を上回 り、課題 の解決 に向け て大き な成果 が見ら れた	協働活動リーダーの増員により、子どもたち一人ひとりへの きめ細かい対応が可能となり、部活動の地域展開に向けた 受け入れ体制が強化された。 また、専門的知識を持つ人材の配置により、教員が生徒へ の技術指導を行う際の心理的な負担が軽減され、より質の 高い指導環境が実現した。 協働活動リーダーの増員に伴い、メンバー間の調整を行う 者の負荷の増加が課題となっている。	羽村市公式サイト https://www.city.hamura.tokyo.jp/ 0000018570.html